

JALグループ、2007年度国際線路線便数計画を策定!

2007年1月17日

第 06112号

JALグループは、本日、2007年度国際旅客便の路線便数計画を策定いたしました。

JALグループは、現在、2009年度以降の成田・羽田の発着枠拡大に備え、「安定した利益を生む事業構造の構築」を進めております。今般の路線便数計画においても、各路線の事業性を徹底的に見直し、低収益路線から高収益路線への路線見直しを行います。

ビジネス需要の旺盛なニューヨーク・パリ路線を増便するほか、成長著しい中国・ロシア・インド・ベトナム路線を更に拡充するとともに、収益性の観点から、一部路線の運休・減便を行います。

また、最新鋭小型機737-800型機を国際線へ投入することにより、お客さまの快適性の向上に努めつつ、機材のダウンサイジングによる収益性の改善を図ります。

さらにチャータービジネスを国際線の新たな事業領域として位置付け、お客さまの利便性・快適性を追求したチャーター便を積極的に企画し、より一層の需要喚起に努めます。

1. 主な路線便数計画変更

(増便)

路線	便数変更	時期・期間	備考
東京＝ニューヨーク	週10便→週13便	2007/3/25～10/27	東京発夜便(火金土曜日)を増便
東京＝パリ	週10便→週14便	2007/6/1～9/30	ダブルデイリー化
東京＝モスクワ	週 2便→週 3便	2007/6/1～9/30	月木土曜日運航
東京＝デリー	週 4便→週 5便	2007/10/1以降	10月よりJALウェイズによる運航
大阪＝ハノイ	週 3便→週 4便	2007/5/15以降	5月より737-800にて運航
大阪＝大連	週 3便→週 7便	2007/7/1以降	5月より737-800にて運航
大阪＝青島	週 2便→週 3便	2007/7/1以降	5月より737-800にて運航
大阪＝杭州	週 2便→週 3便	2007/7/1以降	5月より737-800にて運航

尚、中国路線については更なる増便を計画しております。

(運休・減便)

路線	便数変更	時期・期間	備考
東京＝チューリッヒ	週 3便→ 運休	2007/6/1以降	季節運航便を運休
東京＝香港	週21便→週17便	2007/3/25以降	東京発夜便(月水金日曜日)を減便
東京＝広州	週14便→週11便	2007/3/25以降	東京発夜便(火木土曜日)を減便

2. 737-800投入路線

ビジネスクラスを装備したJALの最新鋭小型機737-800型機(国際線仕様)を大阪(関西国際空港)から成長著しい中国・ベトナム路線へ投入いたします。

737-800投入路線:「大阪=広州」「大阪=大連」「大阪=青島」「大阪=杭州」「大阪=ハノイ」
(大阪=広州は7月以降、それ以外は5月以降投入)

3. チャーター便の拡充

団塊世代を中心に多様化する旅客需要に対応するため、「直行便」という利便性・快適性を優先した国際線チャータービジネスを強化し、2007年度に約800便を設定いたします。

【2007年度チャーター便運航路線計画(日本発着)】

アラスカ(アンカレッジ、フェアバンクス)、
中欧(プラハ、ブダペスト)、
オーストラリア(アリススプリングス、ダーウィン)、
パラオ(コロール)、マーシャル(マジュロ)、モンゴル(ウランバートル) 等

4. その他

路線	変更	時期	内容
東京=高雄	機材変更	2007/10/1以降	767→747-400
東京=台北	機材変更	2007/10/1以降	東京発夜便を747-400→767
大阪=台北	機材変更	2007/10/1以降	大阪発夜便を747-400→767
東京(成田)=大阪(伊丹)	機材変更	2007/4/1以降	大阪発午後便を737-400→CRJ *国内線扱いの便となっています

尚、当計画は関係官庁の認可を前提としています。

